

Title	大阪大学人間科学部紀要 第21巻 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学人間科学部紀要. 21
Issue Date	1995-03
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/22129
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

◇執筆者紹介

中山 康雄	人間科学部	助教授	(人間科学基礎論講座)
Alex Demirovic	〃	客員教授	(比較文明学講座)
平野 正久	〃	助教授	(人間形成論講座)
井上 専	〃	助手	(人間形成論講座)
近藤 博之	〃	助教授	(教育社会学講座)
岩槻 知也	〃	助手	(社会教育論講座)
中島 義明	〃	教授	(行動学講座)
太田 耕平	〃	大学院生	(行動学講座)
投石 保広	〃	講師	(行動生理学講座)
志村 剛	〃	助手	(行動生理学講座)
山本 一成	〃	助手	(臨床老年行動学講座)
柏木 哲夫	〃	教授	(臨床老年行動学講座)
山崎 晃男	〃	助手	(環境心理学講座)
吉田 光雄	〃	教授	(行動系講座外)

編集後記

人間科学部紀要21号をお届けいたします。空前の酷暑の中、原稿執筆に携われ、力作をご投稿いただきました各位に厚く御礼申し上げます。

本学部紀要は、学部創設第3年目（1975年）に刊行を開始し、以来、20年にわたり、人間科学の新たな構築を目指して創造的かつ意欲的に展開された研究への取り組みの成果を公表する役割を果たしてきました。本号では、末尾に、この間の全掲載論文の題名及び執筆者名一覧を付し、その足跡をふりかえることにいたしました。

本年度末をもちまして、定年ご退官の4教授を初めとして多くの先生がたが本学部を去られます。長年にわたり学部の教育研究体勢の基盤整備に誠心ご尽力くださいまして有り難うございました。ご健康とますますのご活躍を祈ります。

紀要編集委員

○阿部 彰 柏木 哲夫
木前 利秋 前迫 孝憲
中山 康雄

（○印 委員長）

平成7年3月25日印刷

平成7年3月31日発行

大阪大学 人間科学部紀要 第21号

編集・発行 大阪大学人間科学部
〒565 吹田市山田丘1-2
TEL 06-879-8015 （図書室）

印刷 大阪市北区豊崎2-11-8
昭文堂印刷株式会社

BULLETIN

VOL.21

1995

CONTENTS

Time and Life — Time for an Acting Subject —	<i>Yasuo NAKAYAMA</i> (1)
Aspekte der Aktualität Adornos	<i>Alex Demirovic</i> (23)
Menschenbildung in der volkstümlichen Gemeinschaft — anhand der Volkskunde von Tsuneichi Miyamoto —	<i>Masahisa HIRANO</i> (45)
"Dialogue" in education and its present-day problems	<i>Mamoru INOUE</i> ... (77)
Determinants of Higher Education Enrollment in Japan: 1955 – 1988	<i>Hiroyuki KONDOU</i> (91)
A Monograph of Literacy Class in Public Facility — A Description of Communication Space in "Internationalizing" City —	<i>Tomoya IWATSUKI</i> (113)
The investigation of intelligent activity in information-processing theory	<i>Yosiaki NAKAJIMA and Kouhei OHTA</i> (137)
An essay on brain and consciousness	<i>Yasuhiro NAGEISHI</i> (157)
Central mechanisms of salt intake	<i>Tsuyoshi SHIMURA</i> (175)
Looking at the Dying Through the Window of a Hospice	<i>Kazunari YAMAMOTO and Tetsuo KASHIWAGI</i> (199)
Analogical problem solving and goals — The necessity of pragmatic approach —	<i>Teruo YAMASAKI</i> (223)
Visualized Social Survey Database by S Language	<i>Mitsuo YOSHIDA</i> (245)

Published

by

THE FACULTY OF HUMAN SCIENCES
OSAKA UNIVERSITY